

「春の小石川植物園(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

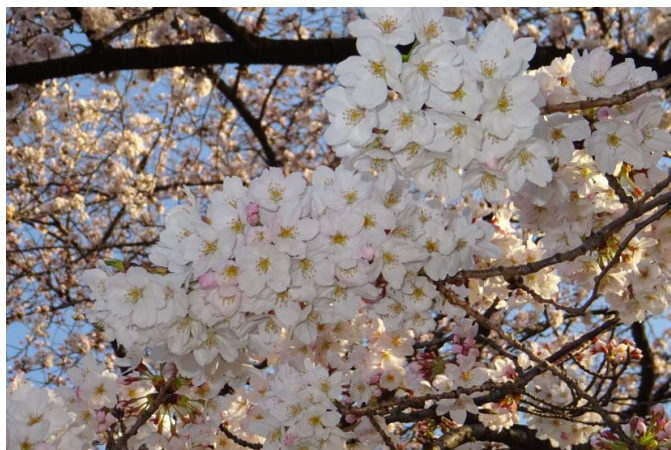
この日は「サクラ満開宣言」から初めての週末。しかも非常に良い天気だったので、サクラの名所「小石川植物園」は多くの人々で賑わっていた。



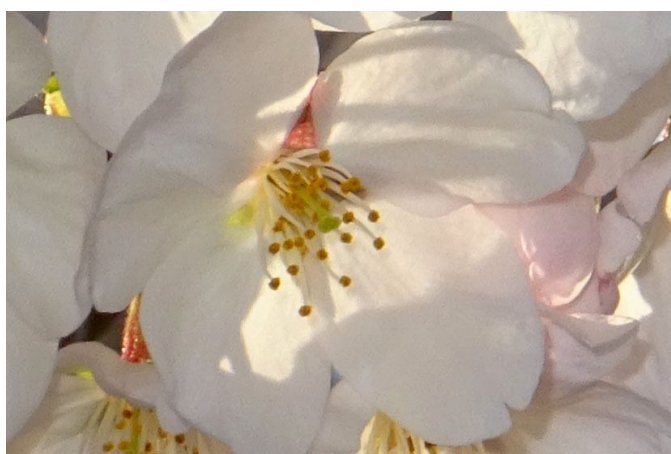
上野や隅田川とちがって、ここは研究施設である植物園。入園料も必要なので、誰もかれも押し寄せるようなことはない。しかも園内は飲酒禁止。公式ホームページにも「お花見においでいただくお客様へ 当園では酒類の持ち込みをお断りしております。お酒を飲みながらの花見はできません。」と明記されている。良いことだと思う。本当にサクラを愛でたい人だけが花見に来ているということだ。そんなわけで、園内では馬鹿騒ぎも、カラオケの音も、「カンパーイ！」という威勢のいい声も聞こえない。踊り出す人もいない。家族連れには、安心して花見ができるだろう。



とにかく家族連れが多い。林床も芝なので、サクラの根元に寝っころがってのんびりしている家族も多かった。都心の春の平和な風景だ。



小石川植物園のサクラは枝が低い。子どもでも梢の花に余裕で触れる高さだ。訪れた人は、そっと触ったり、香りを確かめたり、思い思いに楽しんでいた。



サクラの花にこんなに近づけるのが嬉しい。この写真も「望遠レンズ」ではなく、「接写モード」で撮影した。雄しべや雌しべの一本一本までしっかり写っている。



この日は月齢7の半月(上弦)。私が植物園に行ったのは午後だったので、少し西に傾いた月が見えた。ちょうどサクラの花の隙間に月が見えたので、一緒に撮ってみた。両方にピントが合うことはないのですが、月がぼやけている。そのぼやけ加減がなかなか良い。

